



## 『しゅくだい』

(文・絵：いもと ようこ / 岩崎書店)

ある日、めえこ先生から出された“しゅくだい”に教室は大騒ぎ！ 一体、どんな“しゅくだい”が出されたのでしょうか？ 親子のスキンシップの大切さを教えてくれる一冊です。



## 『名著こども訳シリーズ』

(監修：斉藤 孝 / 日本図書センター)

古今東西の名著から、子どもたちが今を生きるためのヒントになることばを厳選し、子どもにもわかりやすく解説してあります。大人も子どもも楽しめる、親子読書にぴったりの一冊です。



## 『ふまんがあります』

(作・絵：ヨシタケシンスケ / PHP研究所)

「わたしは いま おこっている。なぜなら、おとなは いろいろと ズルいからだ。」  
女の子が「大人ってずるい！」と思っていることを、お父さんに次々と質問していきます。はたしてお父さんはどうやって乗り切るのでしょうか・・・!? 大人気絵本作家ヨシタケシンスケさんがおくる、親子で笑えるユーモア絵本です。



## えほん 『絵本から生まれたおいしいレシピ』

(著者：きむらかよ・晶子・アコ / 宝島社)

「ぐりとぐら」のかすてら、「ヘンゼルとグレーテル」のお菓子の家など、人気の絵本に出てくる料理のレシピがわかりやすく紹介されています。家族と一緒にお菓子やごはんを作る、それは子どもたちにとって楽しくてうれしくて、一生心に残る時間になるはずですよ。



## 『おまえうまそうだな』

(作・絵：西宮 達也 / ポプラ社)

大昔、肉食のティラノサウルスの前に、アンキロサウルスの赤ちゃんが歩いてきます。おいしそうなごちそうを目の前に何とラッキーなティラノサウルス! と思いきや、無邪気な赤ちゃんに「おとうさん」と慕われてしまい、面倒を見る羽目に……。親子の愛情を描いた物語です。



## 『なぞなぞのみせ』

(作：石津 ちひろ 絵：なかざわ くみこ / 偕成社)

絵本の中は昔ながらの商店街。文房具屋さんや、ケーキ屋さん、おもちゃ屋さんなど、お店の様子が細かく描かれていて、その中からなぞなぞが出題されます。お店をめぐる、買い物をするように家族でなぞなぞ遊びが楽しめる一冊です。